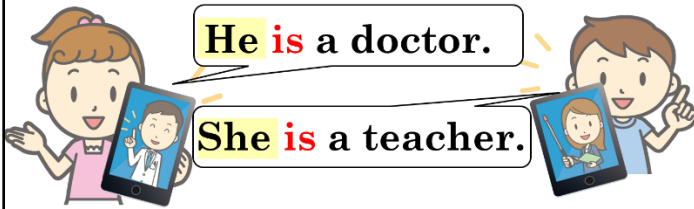


He・She とis



Point

①話している人と聞いている人以外の男性を表す言葉は「**He**」、女性を表す言葉は「**She**」です。

②「**He**」や「**She**」など、話している人・聞いている人以外の1人（1つ）の主語に対して使う「**be動詞**」は、「**is**」になります。

He is ～.

She is ～. のように使います。

HeとSheのBe動詞の否定文



He is a doctor.



He is **not** a doctor.

Point

①～ではないというときには「**not**」を使います。

②「**not**」は基本的に後ろを否定します。そのため、「**not**」は、否定したい部分の前につけます。つまり、「**not**」は、**be動詞**（am, are, is）の後になります。

③ 短縮形として、He's **not** ～ / He **isn't** ～
She's **not** ～ / She **isn't** ～を使います。

1. 次の文を疑問文（たずねる文）にして、（ ）内にある Yes か No でその答え方も書きましょう。

(1) He is a teacher. (Yes)

(2) She is your sister. (No)

(3) He is tired. (No)

(4) She is sick. (Yes)

2. それぞれの英文を「～ではありません。」という否定文を表す表現にしましょう。

(1) He is a baseball fan.

(2) She is sad.

(3) She is from Canada.

3. 次の対話が自然な流れになるように、（ ）に適切な英語を書きましょう。

(1) (クラブの体験で)

A: Is that tall boy a soccer player? (あの背の高い男の子はサッカー選手ですか。)

B: No, () () (). (ううん、違うよ。)

() () a basketball player. (彼はバスケットボールの選手だよ。)

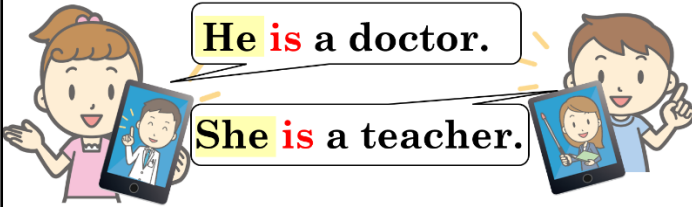
(2) (新しい英語の先生について)

A: Is Ms. Green from America? (グリーン先生はアメリカ出身ですか。)

B: No, () (). (ううん、違うよ。)

() () from Canada. (彼女はカナダ出身だよ。)

He・She とis



Point

①話している人と聞いている人以外の男性を表す言葉は「He」、女性を表す言葉は「She」です。

②「He」や「She」など、話している人・聞いている人以外の1人（1つ）の主語に対して使う「be動詞」は、「is」になります。

He **is** ～.
She **is** ～. のように使います。

HeとSheのBe動詞の否定文



He **is** a doctor.



He **is not** a doctor.

Point

①～ではないというときには「not」を使います。

②「not」は基本的に後ろを否定します。そのため、「not」は、否定したい部分の前につけます。つまり、「not」は、be動詞（am, are, is）の後になります。

③短縮形として、He's **not** ～ / He **isn't** ～
She's **not** ～ / She **isn't** ～を使います。

1. 次の文を疑問文（たずねる文）にして、（ ）内にある Yes か No でその答え方も書きましょう。

(1) He is a teacher. (Yes)

Is he a teacher?

Yes, he is.

(2) She is your sister. (No)

Is she your sister?

Yes, she is not.

(3) He is tired. (No)

Is he tired?

Yes, he is not.

(4) She is sick. (Yes)

Is she sick?

Yes, she is.

2. それぞれの英文を「～ではありません。」という否定文を表す表現にしましょう。

(1) He is a baseball fan.

He is not a baseball fan.

(2) She is sad.

She is not sad.

(3) She is from Canada.

She is not from Canada.

3. 次の対話が自然な流れになるように、（ ）に適切な英語を書きましょう。

(1) (クラブの体験で)

A: Is that tall boy a soccer player? (あの背の高い男の子はサッカー選手ですか。)

B: No, (he) (is) (not). (ううん、違うよ。)

(He) (is) a basketball player. (彼はバスケットボールの選手だよ。)

(2) (新しい英語の先生について)

A: Is Ms. Green from America? (グリーン先生はアメリカ出身ですか。)

B: No, (she) (isn't). (ううん、違うよ。)

(She) (is) from Canada. (彼女はカナダ出身だよ。)